

社会・労働関係文献月録

法政大学大原社会問題研究所編
〒194-0298 東京都町田市相原町4342
Tel : 042-783-2305 Fax : 042-783-2311
e-mail : oharains@adm.hosei.ac.jp

2019.10.1 ~ 10.31 登録分

分類表は2017年9・10月号(707・708号)に掲載されています。同月号より、書籍の登録分のみ掲載です。

書名	編著者名等	発行所	出版年月
----	-------	-----	------

2 歴史・地理

オーラル・ヒストリーに何ができるか	御厨貴編	岩波書店	2019.3
沖縄戦を知る事典	吉浜忍, 林博史, 吉川由紀編	吉川弘文館	2019.6
多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究	宮間純一研究代表者	宮間純一	2019.3
向坂逸郎評伝 上・下	石河康国	社会評論社	2018.1 ~ 3
資本主義と闘った男	佐々木実	講談社	2019.6
山崎今朝弥	山泉進, 村上一博編著	論創社	2018.10
筑後川まるごと博物館	筑後川まるごと博物館運営委員会編	新評論	2019.3
A field in flux	Robert B.McKersie	Cornell University Press	2019

3 社会科学

社会思想史事典	社会思想史学会編	丸善出版	2019.1
日本アナキズム運動人名事典 増補改訂	日本アナキズム運動人名事典編集委員会編	ばる出版	2019.4
『資本論』とロシア革命	森田成也	柘植書房新社	2019.6
ヘゲモニーと永続革命	森田成也編著	社会評論社	2019.2
近代による超克 上・下	ハリー・ハルトゥーニアン著, 梅森直之訳	岩波書店	2019.5
候補者ジェレミー・コービン	アレックス・ナンズ著 藤澤みどり, 荒井雅子, 坂野正明訳		2019.4
行政責任を考える	新藤宗幸	東京大学出版会	2019.2
「分派」と呼ばれた男	久保護	白順社	2019.2
近世駆込寺と紛争解決	佐藤孝之	吉川弘文館	2019.3
離婚後の共同親権とは何か	梶村太市, 長谷川京子, 吉田容子編著	日本評論社	2019.2
冤罪女たちのたたかい	里見繁	インパクト出版会	2019.4
再審請求「東京裁判」	名越弘	白桃書房	2019.2
日本企業のグローバル戦略に関する研究	労働政策研究・研修機構編	労働政策研究・研修機構	2019.3
高齢者の多様な活躍に関する取組II			2019.5
地方発外国人住民との地域づくり	徳田剛, 二階堂裕子, 魁生由美子編著	晃洋書房	2019.5
代替養育の社会学	藤間公太		2017.2
企業不祥事と日本的経営	十名直喜		2019.2

マンゴーと手榴弾	岸政彦	勁草書房	2018.11
さまよえる大都市・大阪	鯉坂学 他編著	東信堂	2019.5
「生きる力」論批判	佐藤年明	三重大学出版会	2019.1
新宿「性なる街」の歴史地理	三橋順子	朝日新聞出版	2018.10
私たちにはことばが必要だ	イ・ミンギョン著 すんみ, 小山内園子訳	タバブックス	2019.3
貧困のなかにいる子どものソーシャルワーク	「子どもの貧困」に向き合う人々著 大西良編著	中央法規出版	2018.9
その後の福島	吉田千亜	人文書院	2018.9

4 労働

労働力需給の推計	労働政策研究・研修機構編	労働政策研究・研修機構	2019.3
若年者の離職状況と離職後のキャリア形成II			2019.5
中国におけるシェアリング・エコノミー下の「新たな就労形態」と就労者保護			2019.3
諸外国における女性活躍・雇用均等にかかる情報公表等について			2019.2
「独立自営業者」の就業実態			2019.3
職業分類作業部会報告I			2019.5
企業における福利厚生施策の実態に関する調査			2019.3
住まいと仕事の地理学			2019.3
過半数労働組合および過半数代表者に関する調査			2018.12
IT関連教育訓練の現状に関する調査			2019.3
民間教育訓練プロバイダーの活動			2019.3
職業訓練及びキャリアコンサルティングの統計的手法による効果検証			2019.3
労働法の人的適用対象の比較法的考察	2019.5		
働き方改革と「働きがい」のある職場	労務理論学会誌編集委員会編	労務理論学会 晃洋書房(発売)	2019.3
労働組合法の応用と課題	道幸哲也	日本評論社	2019.3
The new politics of transnational labor	Marissa Brookes	ILR Press, an imprint of Cornell University Press	2019
Everyday transgressions	Adelle Blackett	ILR Press, an imprint of Cornell University Press	2019
Working at others' homes	Neetha N. (ed.)	Tulika Books	2019
The everyday nationalism of workers	Maarten Van Ginderachter	Stanford University Press	2019
City of workers, city of struggle	Joshua B. Freeman (ed.)	Columbia University Press	2019
Labour and employment compliance in Japan	Yoshikazu Sugino	Kluwer Law International	2018
The ILO @ 100	Christophe Gironde, Gilles Carbonnier (eds.)	Brill / Nijhoff	2019
フランス労働法改革の意義と労使関係への影響	労働政策研究・研修機構編	労働政策研究・研修機構	2019.3

5 産業

格差拡大と日本の流通	仲上哲	文理閣	2019.2
------------	-----	-----	--------

7 文学・芸術

関西戦後新劇史	日本演出者協会関西ブロック編 日本演出者協会企画	晩成書房	2018.11
---------	-----------------------------	------	---------

有斐閣 出版案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17/Tel:03-3265-6811
<http://www.yuhikaku.co.jp/>
(表示価格は税別。消費税込みの金額が定価です。)

◎図書目録送呈◎

ジェンダーの政治経済学 三九〇〇円 A6判
 原 伸子著 ● 福祉国家・市場・家族 ベック「新家庭経済学」における女性労働の分析とその後、フェミニスト経済学の発展を追い、福祉国家におけるワーク・ライフ・バランスの精査を行う。
 二〇一六年刊

生活保障のガバナンス 三七〇〇円 A6判
 大沢真理著 ● ジェンダーとお金の流れで読み解く「一九八〇年代以降の生活保障システムを分析し、日本の社会・経済の脆弱性を照らした。」「生きにくさ」とジェンダーの関わりを明らかにする。
 二〇一四年刊

社会福祉のトポス 四一〇〇円 (有斐閣ストロディエ)
 岩田正美著 ● 社会福祉の新たな解釈を求めて、戦後の「広義の社会保障」と関連政策をいくつもの異なる「事業集合」として捉え、厚生(労働)白書を主な具体的素材として丹念に分析。
 二〇一六年刊

社会福祉をつかむ 第三版 二四〇〇円 (テキストブックス(つかむ))
 稲沢公一・岩崎晋也著 なぜ人は人を助けるのか。「援助すること」をめぐる実践的な問いから、それを支える理念・政策を、短いユニット単位でわかりやすく解説した入門テキストの最新版。
 二〇一九年刊

21世紀家族へ 第四版 一九〇〇円 (有斐閣選書)
 落合恵美子著 ● 家族の戦後体制の見かた・超えかた アジア諸国の家族も視野に入れながら、21世紀初頭の現実をとらえ、新たに2章を書き下ろした。ますますパワーアップした、家族社会学の基本書。
 二〇一九年刊

福祉国家の制度と組織 四一〇〇円 A6判
 佐々木伯朗著 ● 日本的特質の形成と展開 戦後日本における財政システムが、なぜ他の先進国と比較して特殊な性格を帯びるに至ったのか、制度と組織に着目して検証する。
 二〇一六年刊

現代アジア経済論 二七〇〇円 (有斐閣ブックズ)
 遠藤 環・伊藤重聖・大泉啓一郎・後藤健太編 ● 「アジアの世紀」を学ぶアジア経済のダイナミズムを描く。「老いていくアジア」の章では、アジアの社会保障制度を整理し、加速する少子高齢化を分析。
 二〇一八年刊

◎図書目録送呈◎

90

大原社会問題研究所雑誌 No.736/2020.2